

# 進路だより 第3号 宮城県岩ヶ崎高等学校

## 進路講演会から

本校では毎年外部講師を招いて進路講演会を開催しております。7月には河合塾の山田祐子氏を招いて3年生保護者を対象に講演会を開催いたしました。40名を超える保護者が山田先生の熱のこもった話に耳を傾けていました。

その中で印象に残ったのが「合否は勉強だけの問題ではない。」という言葉です。現役で合格するか浪人するかは「自己管理ができるかどうか」によるそうです。「いつまでに何をするのか、自分に何が必要なのか」を考え、先送りしないで実行する力こそが現役で第一志望に合格するために必要な力で、それをサポートするのが先生方や保護者の役割であると熱く語っておられました。

もう一つは「志望校がこの時期にきちんとと言える覚悟ができています。」ということです。ともすれば模擬試験の結果に一喜一憂し志望校を安易に変えてしまう場合もあります。また、進路に対する不安のあまり目をそらしたりすることもあると思いますが、そんな時こそ保護者の出番と話しておられました。子どもと「行きたい大学」、さらにお金のことについてじっくりと話し、子どもと一緒に志望大学を目指してほしいと我々保護者の目を見ながら話されておりました。

さらに、「大学受験は通過点」であり、苦しいことを乗り越えた経験こそが長い人生の中で大きな力になるともおっしゃっておりました。

山田先生は、大学受験のみならず親子関係、家庭での生活の仕方にまで言及され、親として自分自身を振り返る機会にもなりました。今の大学入試は親世代と違って様々な入試スタイルがあります。子どもに任せおくだけでなく、親の立場でも入試スタイルや奨学金制度について学ぶ必要があると感じました。何よりも子どもとしっかり向き合って話ができる親子関係を築くことが一番大切だと痛感しています。受験勉強で疲れた子どもを受け入れ癒やすことができるのは親であり家族です。子どもが第一志望を突破できるよう支えたい、そう強く感じさせられた進路講演会でした。

## PTA大学企業見学会

今年のPTA研修会は、8月24日（水）トヨタ自動車東日本大衡工場と宮城大学大和キャンパスを見学しました。大衡工場では、シエンタやアクシオが数え切れないほどライン上を流れていました。車体組立はすべて機械（アームロボット）が行い、作業員はほとんどいません。逆に、部品組立は作業員が多く、丁寧に部品を取り付けていました。「不良品はほとんど出ない。」と、担当者が話していたのが印象的でした。

宮城大学は、まだ夏休み中だったため、大学生の姿はあまり見られませんでした。しかし、施設設備を丁寧に案内していただいたり、入試に関する質問に丁寧に答えていただいたりしました。

来年度（平成29年度）から、学部制に代わって学類制が導入されます。また、推薦入試にセンター試験が課され、得点率56%（476点）以上が選抜基準になりました。

